

目次/編集方針

トップ
メッセージ

グループ概要

ニコンのCSR

製品責任

環境経営

人権の尊重

労働慣行

サプライチェーン
マネジメント

社会貢献活動

経営基盤

データ集ほか

[>サステナビリティの考え方](#)
[>CSR推進体制](#)
[>CSRにおける重点課題](#)
[>ステークホルダーとの対話](#)

ステークホルダーとの対話

ニコングループではさまざまな方法や機会を通じて、
ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションを図っています。

ステークホルダーとの主なコミュニケーション

ステークホルダー	コミュニケーション手法
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ・コールセンターやサービス窓口 ・営業担当部門/サービス担当部門によるお客様対応 ・ウェブサイトなどによる情報発信 ・展示会/イベント など
株主	<ul style="list-style-type: none"> ・株主総会 ・マスコミなどを通じたニュースリリース/公告 ・ニコンレポート、中間報告書・年度報告書などの各種印刷物の発行 ・ウェブサイトなどによる情報発信 ・決算説明会 ・ESG投資に関する対応 など
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・社内報・イントラネットなどによる情報発信 ・労使協議会、または従業員代表との協議 ・報告相談制度 ・グループ会社人権/労働モニタリング調査と従業員意識調査 など
事業パートナー	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の事業活動を通じての対話 ・調達パートナーの訪問確認/フィードバック・調達パートナーへの説明会/アンケート ・環境管理システムの構築状況確認(調査/監査) など
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントへの参加 ・社会貢献活動などでのNGO / NPOなどとの協働 ・経済団体や業界団体などへの参加 ・官公庁との相談 など

CSR関連の主な加盟団体一覧(2017年3月末現在)

団体名
公益社団法人 企業市民協議会(CBCC)
一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
一般社団法人 経営倫理実践研究センター(BERC)
Japan Business Council in Europe(JBCE)CSR委員会、環境委員会
特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター(JANIC)
Conflict-Free Sourcing Initiative(CFSI)
JEITA責任ある鉱物調達検討会
Business for Social Responsibility (BSR)人権分科会
アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)

社会貢献活動における主な寄付・支援団体一覧(2017年3月末現在)

団体名	
国立大学法人 千葉大学	公益財団法人 東洋文庫
国立大学法人 東京大学	公益財団法人 がん研究会
公益財団法人 三菱財団	公益財団法人 三菱経済研究所
独立行政法人 日本学生支援機構	一般社団法人 天体望遠鏡博物館
公益財団法人 オイスカ	E U・ジャパンフェスト日本委員会
公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会	公益社団法人 日本写真家協会
公益財団法人 民際センター	公益財団法人 日本自然保護協会
公益財団法人 静嘉堂	特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会
独立行政法人 国際協力機構(JICA)	国際連合広報センター(UNIC TOKYO)

※ 寄付金額上位団体。

社外からの評価

ニコングループでは、ステークホルダーの皆様からのご意見を伺い、コミュニケーションを図りながらCSR活動を推進しています。

■その他の評価実績(2017年3月期)

▶携帯型実体顕微鏡「ファブル フォト」が、2016年度「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」を受賞(2016年11月)

http://www.nikon.co.jp/news/2016/1101_gooddesign_01.htm

▶「レッドドット・デザイン賞 プロダクトデザイン 2016」をデジタル一眼レフカメラ「D5」「D500」が受賞(2016年4月)

http://www.nikon.co.jp/news/2016/0418_reddot_02.htm


ESG投資インデックス組み入れ状況(2017年7月3日現在)

ESG投資インデックス	選定/概要
 FTSE4Good Index Series	選定:2004年より 「FTSE4 Good Index Series」は、ロンドン証券取引所に属するFTSE Russell社が作成する世界の優良企業を選定した社会的責任投資指数です。
 モーニングスター社会的責任投資 株価指数 (MS-SRI)	選定:2010年より 「モーニングスター社会的責任投資株価指数 (MS-SRI)」は、モーニングスター株式会社が国内上場企業の中から社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数です。
 ECPI Ethical Index Global	選定:2011年より ECPI社は、イタリアとルクセンブルグに拠点を置き、企業のESG(環境、社会、ガバナンス)に関する調査、格付けを行っています。
MSCI Global Sustainability Indexes	選定:2014年より 「MSCI Global Sustainability Indexes」は、各業界で高いESG評価を得られた企業から構成されるインデックスです。


※1 新しく開発されたインデックスで、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用対象に採用されています。

ESG投資インデックス	選定/概要
 FTSE Blossom Japan Index*1	選定:2017年より 「FTSE Blossom Japan Index」は、ESGの視点から優れた日本企業のパフォーマンスを反映するよう設計されたインデックスです。
MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数*1	選定:2017年より 「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」は、日本株の時価総額上位500銘柄の中から、各業種の中でESG評価が高い企業が選ばれています。
MSCI 日本株女性活躍指数*1	選定:2017年より 「MSCI日本株女性活躍指数」は、日本株の時価総額上位500銘柄の中から、各業種の中で性別多様性に優れた企業が選ばれています。

格付評価(2017年3月末現在)

格付	評価/概要
 DBJ環境格付	評価:2016年より 日本政策投資銀行(DBJ)の環境格付において、最高ランクの格付を取得し、その評価に基づく融資を受けました。また、特別表彰も受けました。同格付は、DBJが開発したスクリーニングシステムにより企業の環境経営度を評価、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定する投資メニューです。

表彰(2017年3月期)

表彰	概要
 RobecoSAM Sustainability Award Industry Mover 2017	「RobecoSAM Sustainability Award Industry Mover」は、RobecoSAM社が毎年実施するコーポレート・サステナビリティ評価において、各産業で上位15%に入った企業で、かつ前年比でスコアの改善幅が最も大きかった企業に与えられる賞です。